

「暮らしの知恵シリーズ① 簡単！品格アップ！！」

私にもできるおしゃれな風呂敷包み」を開催しました

平成22年10月27日、株式会社高松三越 呉服マネジャー 大森 隆司さんを講師にお迎えしました。

風呂敷の歴史について面白いエピソードを交えて学んだ後、様々な包み方を教えていただきました。



「包みもの」の歴史について古くは奈良時代、正倉院蔵の御物を包んだという記述が残されています。室町時代には、大名達が風呂に入る際脱いだ衣服を家紋が入った絹布に包んで他の人の衣服とまぎれないようにし、風呂から上がったからはこの絹布の上で身繕いをしました。

また、当時の風呂は蒸気浴で、蒸気を拡散し室内の温度を平均化するため、床には、むしろ、すの子、布などを敷きました。これらが風呂敷の名前の由来と推測できます。

実際の包み方では、慶弔の包みや風呂敷が手提げバッグに変身！すいか包み（写真上）、結び目が花びらの様にかわいらしい花びら包み（写真右）等ちょっとしたコツでおしゃれに使える方法を教えていただきました。受講生のみなさんは興味津々で講座終了後も、包み方について熱心に質問していました。

